

加西市ふるさとミーティング2021秋 地域課題及び要望事項 回答書 九会地区

開催日：令和3年11月5日（金） 場所：農村環境改善センター

	項目名	内 容	地区・場所	担 当	回 答
1	鳥獣害対策（特にイノシシ対策）について	主要な場所には金網柵を設置し対策しているが、道路や水路などを通り抜け水田、畑、県道、住宅、河川にまで出没している ①電気防護柵の設置に係る資材購入費の補助拡大・消耗品（電池など）の補助、個人負担の削減（現状の半分） ②有害捕獲の拡大 ・実施期間、駆除方法、場所の拡大、報奨金制度の導入 ③被害補修費の補助導入 ・ため池、水路、農道、河川堤防の補修費用の補助	市内全域 九会地区11町	地域振興部	集落での金網柵の設置が進んでいますが、定期的な保守管理等（月に1回程度を推奨）が行えていないことで、シカ・イノシシが侵入しているケースが多く見受けられます。獣害対策では金網柵の点検や収穫残渣などをなくすなど集落での取組も重要です。市では、兵庫県森林動物研究センターなどの専門家の支援を受けながら、獣害対策モデル地区を設置しています。住民の皆さんに獣害対策の知識の習得と、集落内の点検等により必要な取り組みを実施していただくことで被害を減少させていきたいと考えています。 ①令和2年より、農会が取り組む電気防護柵の設置費用についての一部補助（3/10補助 上限20万円）を実施しています。電気柵については、保守や管理が正しく行えていないケースが多いことから、保守管理の効率化を図るため、新たに電気防護柵対応の防草シートを新たに補助の対象に加えることを検討しています。 しかし、ご指摘の消耗品の補助については、性質上補助の対象外としています。また、農会で電気防護柵の設置を検討される場合は、獣種の特定、効率的な設置箇所対策、保守方法についてアドバイスをいたしますのであらかじめ農政課へご相談ください。 ②鹿・猪の有害捕獲については、兵庫県猟友会加西支部に委託し実施しています。また、有害捕獲期間については、委託先である猟友会との協議により定めており、銃による有害捕獲期間を4月から6月、9月、3月、わなによる駆除期間を6月から8月としています。また、狩猟期間は11月15日から3月15日までとなっております。また、狩猟期間は11月15日から3月15日までとなっております。また、狩猟期間は11月15日から3月15日までとなっております。また、狩猟期間は11月15日から3月15日までとなっております。 猟友会会員の高齢化から、猟友会による一層の捕獲強化は困難な状況でありますので、今後は、各集落において獣害対策の基本を周知するとともに、被害現状の把握を行いながら、集落内の免許所持者を育成し、地域住民による捕獲等、地域に応じた対策の推進に取組みます。 ③ため池、水路、農道、河川堤防の補修については、多面的機能支払交付金を活用することが可能です。
2	地域公共交通の充実・拡充について	高齢世帯の増加が予想されるが、通院や買い物の手段が無い。免許証返納後の移動が不便になる。小野市など近隣自治体と比較しても見劣りする。	北条鉄道沿線を除く市内全域	ふるさと創造部	平成30年度に策定した「加西市地域公共交通網形成計画」に基づいて、公共交通施策を実施しています。地域内交通と主要なバス停や駅への移動は地域主体型交通の役割と位置づけています。ふるさと創造会議を中心に地域主体型交通の導入の検討して頂きたいと考えます。

3	鶺野飛行場跡の周辺整備について	・地域活性化拠点施設のオープンが約半年後に迫る中、周辺道路の整備や駐車場のできるだけ早い整備が必要だが、鶺野飛行場線全面開通の時期は。また生活道路、中高生の通学路もあり、変則交差点の解消等安全対策はどうするのか。 ・鶺野飛行場線の横の素掘りの水路(地域活性化拠点施設・備蓄倉庫の反対側)の見栄えが悪く景観を損ねるので、整備を行ってほしい。 ・旧飛行場南西半分は未開発だが、がたがたで埃っぽいので、整備してほしい。 ・鶺野飛行場周辺の土地利用を含めた新たな総合計画を検討いただきたいが、現状はどのような状況か。検討の余地はあるのか。 (追加) 鶺野飛行場線について、令和5年3月の開通は無理との回答であるが、全面開通はいつになるのか。活性化拠点施設に1年遅れて開通するのも異例で、中学生の通学路の危険な状態はいつまで続くのか。	鶺野飛行場跡周辺	都市整備部 ふるさと創造部	・地域活性化拠点施設付近の道路整備については、施設が円滑にオープンできるよう工事を進めてまいります。また、道路の安全対策としては、警察機関と協議の上、取付け道路の位置や、停止線等の道路標示を適切に行ってまいります。合わせて、通学路の安全対策として、交差点付近の散策道等の飛行場内の利用もできるよう図ってまいります。 (仮) 鶺野飛行場線の全線開通については、令和5年3月を目標に事業を進めていますが、県道三木山崎線との取付け部分において、池の工事区間が長く、工事時期が取水期以外と限られているため施工工程や必要な工期を含め検討を行っているところです。 ・(仮) 鶺野飛行場線に平行する素掘り水路(地域活性化拠点施設横)については、路面排水処理にも関連するため改修について地元と協議を進めたいと考えています。 ■ふるさと創造部 ・飛行場南西半分については、現在、修学旅行や平和学習対応時の駐車場、大規模イベントの会場等として活用しています。第二次大戦中に整備された滑走路跡は貴重な戦争遺跡であることから、出来るだけ原形をくずさないことを考慮に入れ、来年度以降に補修、再整備を検討してまいります。 ・来年度春オープン予定の加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」を拠点とし、鶺野飛行場跡周辺に点在する戦争遺跡群を鶺野フィールドミュージアムとして整備を進めております。また、今年度、加西市道の駅可能性調査及び基本構想策定業務を計画しており、鶺野飛行場周辺を中心とした道の駅構想を策定いたします。鶺野フィールドミュージアムが地域活性化の中心となるような全体計画についても合わせて策定を進めてまいります。 (追加) 国の社会資本整備総合交付金の補助金が採択されずに工期が遅れ、周辺住民の皆様にご迷惑をおかけしている状況です。なお、全面開通の現時点での目標については、1年遅れの令和6年3月を目途としています。
4	市道中野～桑原田線市道一部拡幅工事について	中野公会堂から桑原田迄の市道で一部分が拡幅工事未施工のままになっております。最近その道路に面して住宅(8軒)建設に伴う造成工事を行うと業者より連絡を頂きましたが、市と業者何らかの連携で、未施工の部分の改善ができないか、また現状を市はどのように計画されているのか、希望として早く拡幅工事施工をお願いしたい。	中野町	都市整備部	市道桑原田中野線の未改修区間約50mについては、この度の開発工事に合わせ、道路改良工事が実施される予定となっておりますので、ご協力をいただきますようお願いいたします。 当該路線においては、朝日橋までの区間で、一部用地が取得できていないため、地権者のご理解も得ながら未改修区間の整備に努めたいと考えています。

5	生活道の舗装工事について	当町は農地面積が少なく多面的支払交付金の金額が少ない町です。その交付金を優先的に農道兼生活道の舗装整備に使用していますが、金額が少ないため非常に年数がかかること、また、近年の獣害対策等にも交付金を活用したいが、難しいのが現状です。 そこで、農道であっても、民家群があり、現実には生活道路であるので、その舗装整備について市で支援をしてほしい。	南網引町	都市整備部	加西市では、120箇所近い市道の改善要望を受けており、順次、修繕工事を実施していますが、予算も限られており複数年に渡り順番待ちをお願いしている案件が多い状況です。 したがって、市道以外に多くの予算を配分することは難しく、多面的機能支払交付金の対象路線については、年次計画を立てて交付金を活用いただくとともに、交付金対象外の生活道路については、アスファルト合材等、一定額までの材料支給を行っていますのでご相談いただきますようお願いいたします。
6	地域防災無線整備に伴う現有線放送設備撤去費の全額市負担について	長年待ち望んだ九会地区15町と富合地区4町の防災無線システム整備が、令和4、5年に整備されること、また、その整備費や戸別受信機の設置に伴う費用は全額市負担で各戸負担を求めないという話を聞いてとてもありがたく思っています。一方、高齢者世帯や困窮世帯も多くあり、現有線放送設備の撤去も、ぜひ全額市負担でお願いしたく要望いたします。	九会地区全体	総務部	加西市では、市内全域をカバーする防災無線を整備するため、令和2年度に市内全域の基本設計を実施し、令和3～7年度の5カ年計画で整備を進めております。その中で、九会地区につきましては、防衛施設周辺整備事業を活用することで先行して来年度より整備にかかることとなります。 8月4日の九会地区区長会において担当が説明致しましたが、防災無線導入の基本経費については市の負担で行うことで検討しておりますが、現有線放送設備の撤去費につきましては、他地区とのバランスを図る形でのご負担をお願いしたいと考えております。
7	小学校スクールバスの運行について	登下校の道のりが一定以上の地域に対して、スクールバスを導入して欲しい。 約4キロの道のりを徒歩で登下校しているが、児童数も減少し不審者情報もある中、児童の安全安心の観点から問題である。さらに、交通量も多く千葉県八街市での交通事故は決して他人事ではなく、児童を交通事故から守るためにも導入を希望する。 また、若い世帯が当該地域に居住しない理由の一つに登下校のリスクがあり、導入により人口の維持・増加が期待できる。 (追加)4キロ以上の通学距離がある地区を教えてください(別途内容済)	九会地区(南部)	教育委員会	通学時の子供たちの安全確保のため、スクールバスは大変有効なものはありますが、市がスクールバスを走らせるとなると、九会校区だけでなく全ての校区において実施する必要があります。 実施にあたっては、多額の費用がかかりますので、ただちにスクールバスを走らせることはできませんが、現在市長から諮問され検討を進めている「加西市未来の学校構想検討委員会」の答申及びその後の方向性を見定めつつ、検討していきたいと考えています。
8	小学校の統廃合について	児童数が減少する中、学校教育(集団教育)に様々な課題が出てきていると思う。小学校の統廃合については、地域の特性もあるため、実現するのが必ずしも良いとは思わないが、統廃合のメリット・デメリット、他都市の事例、有識者や関係者などの意見を踏まえて検討されていると思うが、その状況について報告願いたい。	市内全域	教育委員会	今年10月11日に、「第1回加西市未来の学校構想検討委員会」を開催し、少子化の進行による小中学校の再編や、地域との連携による学校づくりなど、将来に向けて、加西市の望ましい教育環境のあり方とその具体的な方策についての協議をスタートさせました。検討委員会は、保護者や区長会長、校長、老人クラブ連合会会長等、計17人で構成しています。今後は、来年の9月までの1年間で協議を行っていきます。 なお、今年12月20日に開催される第2回検討委員会では、小中学校の再編についての素案を、提示する予定としております。

9	通学路の安全対策について	①国道372号線と市道朝妻繁昌線(市道番号1-734)の交差点に信号機(押しボタン式)設置の要望(5/6加西警察に要望済) ②国道372号線老生橋北側路側帯拡幅整備の要望(5/10都市整備部に要望済) (追加)交差点の信号機設置要望に関して、当該箇所は設置基準を満たさないとの回答であったが、この詳細内容について開示していただきたい。区長宛書面で回答をお願いします。	九会地区	都市整備部	①当該箇所への信号設置については、以前より要望を加西警察へ提出し、協議を行いました。が、兵庫県内で新設される信号機は、年間10基程度と設置基準が厳しく、当該箇所は基準を満たさないとの回答であり、難しい状況です。 ②当該区間の路肩拡幅について、加東土木事務所と協議をしましたが、擁壁設置の掘削が車道にかかるため、う回路を設置する必要がありますが、道の両側に家屋が隣接しており場所の確保が困難な状況です。 当面の応急対策として、横断歩道の移動による横断者の待避場所の確保について警察と協議を行っていますので、再度、申し入れをいたします。 (追加)信号の設置については、警察と協議をしているが明確な基準の提示はありません。信号機の設置基準は公表されているので、後日文書で回答します。
10	水稻維持管理について	高齢化に伴い、水稻の維持管理が困難な状況です。現状を維持し、将来に向けた後継者の確保のため、柔軟性を持った補助金方法が必要である。例えば、水利組合や隣保単位または少人数で取り組んだ場合、農地面積に関わらず機械の購入や保管設備の設置等に対して補助金対象にするような加西市独自の補助を考えて欲しい。	市内全域 九会地区	地域振興部	農業従事者の高齢化、後継者不足は全国的な課題となっております。そうした中で、加西市では市独自の補助のほか、国・県の補助を活用して地域農業の担い手となる農業者への支援を行っています。 担い手とは地域の営農組合・認定農業者、新規就農者のほか、集落単位での人農地プランにおいて今後5年から10年にかけて農地を守り、経営を続けていく農家として位置付けられた方を指します。 集落内での一部の農地に係る補助はありませんが、集落内で今後地域の農業をどのようにしていくかを話し合っていたいたうえで、各種補助事業をご検討いただければと思います。